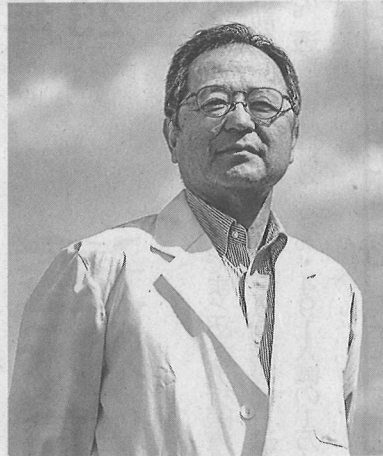


No.2268

# 院長訪問

札幌白石記念病院

道井 洋史院長



「スタッフのモチベーションは高く、フレキシブルに動くことができ、各診療科の連携がとれていることが当院の強み」。

4月から院長に就任。心臓血管センター北海道大野病院、札幌心臓血管クリニックなどで、院長として心臓血管外科手術の中心的な役割を担ってきた。

これまで5000例以上の各種心臓血管外科手術を経験している。傷口が小さい、出血量が少ない、入院期間が短いなど、手術の低侵襲化が目目されているが、「患者にとつて、何がトータルで低侵襲といえるのか、しっかりと考える必要が

## “チームワークと機動力生かし 患者にとって最善の治療を提供”

ある」と指摘する。て、不整脈が重要なポイントという。

例えば、その後の長い人生を考えると、開胸手術のメリットが大きすぎる治療体制が充実していることもある。退院後、家族や自宅療養環境、発見・治療にも役立つも含めて、いかに一生懸命に治療を提供できるか考えなければならぬ。チームワークもその治療を提供できると機動力で、信頼される病院であり続けない。

「最新手技、最先端機器だから全て良いのではない。長年かけて確立されてきた手技だからその安定感もある。患者を第一に、あらゆる選択肢の中から最善を尽くしていきたい」。

脳神経外科疾患、心臓血管疾患の共通項とし



▼住所 札幌市白石区本通8丁目1-10